

「田中正造について」 その略歴。

- 1841 (天保12) 年 下野国安蘇郡小中村 (現在の栃木県佐野市) に生まれる。
- 1857 (安政4) 年 小中村の名主に公選される。
- 1868 (明治元) 年 六角家改革事件により入獄11ヶ月
- 1870 (明治3) 年 江刺郡花輪支庁 (現在の秋田県) の役人になる。
- 1871 (明治4) 年 上役暗殺の疑いを受け投獄される (2年9カ月)。
獄中で『西国立志論』を読んだりし、政治経済の学問に励む。
出所後、自由民権運動家として活動を始める。
- 1878 (明治11) 年 栃木県第4大区3小区区会議員に選ばれる。
- 1880 (明治13) 年 栃木県会議員に当選 (以後4回連続当選)。国会開設運動に。
- 1882 (明治15) 年 立憲改進黨に入党。
- 1884 (明治17) 年 加波山事件に関係したとして入獄3ヶ月。
- 1886 (明治19) 年 栃木県議会議長となる。
- 1890 (明治23) 年 第1回衆議院議員選挙に当選 (以後6回連続当選)。
以後、改進黨→進歩党→憲政党→憲政本党で全国を歩く。
- 1891 (明治24) 年 第2回帝国議会で「足尾銅山鉍毒加害の儀に付質問書」提出。
- 1896 (明治29) 年 渡良瀬川大洪水。鉍毒水被害が広がり被害民大会開かれる。
足尾銅山鉍業停止運動を開始。議会で取り上げ、政府に質問。
- 1899 (明治32) 年 議員歳費値上げ反対演説、歳費を辞退。
足尾鉍毒被害状況を基に鉍業停止の質問。
- 1900 (明治33) 年 第4回大挙押出し (現在の請願デモか?)。
川俣事件が起きる。憲政本党脱退。
- 1901 (明治34) 年 衆議院議員を辞職し、天皇に直訴 (首に「謹奏」とある)。
- 1902 (明治35) 年 川俣事件裁判での官吏侮辱罪で入獄41日間。
この頃より渡良瀬川下流域を遊水池にする計画が起きる。
- 1904 (明治37) 年 谷中村 (栃木県) に住み、遊水池化反対運動を始める。
- 1905 (明治38) 年 谷中村民の集団移住始まる。
- 1907 (明治40) 年 谷中村残留民家強制破壊。谷中村復活運動に励む。
- 1909 (明治42) 年 渡良瀬川改修工事計画出される。
友人の島田衆議院議員等の名で「被害破道に関する質問書」。
- 1910 (明治43) 年 関東大洪水。政府治水政策を正すため、関東各地の河川調査。
- 1913 (大正2) 年 河川調査から谷中村へ帰る途中の9月4日、病に倒れ死去。
享年73歳。遺骨は5か所に分骨埋葬される。

「真の文明は 山を荒さず 川を荒さず 村を荒さず 人を殺さざるべし」